

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)伊丹市中央4丁目 新築工事	階数	地上14F
建設地	兵庫県伊丹市中央4丁目13番の一部	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域、駐車場整備地区、景観計画区域、屋外広告物(許可地域等)	平均居住人員	156 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,640 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2027年12月 予定	評価の実施日	2025年10月1日
敷地面積	495 m ²	作成者	表谷 篤慶
建築面積	227 m ²	確認日	
延床面積	2,265 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ホールライフカーボン(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	100%
③上記+②以外の	99%
④上記+	99%

このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したWLC排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
音環境: 3.3	機能性: 3.7	生物環境: 2.0
温熱環境: 2.3	耐用性: 2.9	まちなみ: 4.0
光・視環境: 3.2	対応性: 2.9	地域性: 2.5
空気質環境: 3.5		

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建物外皮: 3.0	水資源: 3.4	地球温暖化: 3.0
自然エネ: 3.0	非再生材料: 3.2	地域環境: 3.0
設備システム効率化: 2.8	汚染物質: 3.0	周辺環境: 3.1
効率的: 3.0		

3 設計上の配慮事項		
総合	植栽を積極的に設け近隣からの圧迫感の軽減及び周辺環境との調和	その他 特になし
Q1 室内環境	全居室の使用建築材料(接着剤含む)は、告示対象外又は、規制対象外(F☆☆☆☆)を使用している。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地をできる限り多く確保している。
LR1 エネルギー	特になし	LR3 敷地外環境 建物利用者のための適切な駐車駐輪スペースを確保し、交通負荷を抑制している。
Q2 サービス性能	特になし	
LR2 資源・マテリアル	特になし	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される